

青森駅自由通路

「アートギャラリー」でのPRフォロー

2025年、青森開港400年

2026年、青森まちづくり400年

みなとまち・あおもり「400歳」になります

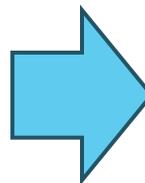
柿崎 孝治

大型ポスター 1種類のみ拡大展示



9月を過ぎたのに代わり映えが無く 提案1

青森の町づくりに関しての説明文と油川浄満寺に設置されている森山弥七郎の供養碑や8月3日に開催された墓前祭の新聞記事などのポスターを作成し展示することを提案する。



以前よりお話をいただいておりますが、別添のとおり作成しておりましたので、ご確認いただければと存じます。

また、東奥日報に掲載されている集合写真につきまして、墓前祭にお集まりの油川町会の皆様のポスター掲載へのご許可を確認できればと思っております。もし不都合がある方がおりましたら、ご連絡いただければと存じます。

みなとまち・あおり誕生 400 年 歴史ガイド

青森の町づくりと森山弥七郎

みなとまち・あおり誕生 400 年実行委員会(問合せ先:青森市経済部交流推進課 TEL:017-734-5415)

青森の町づくり

青森の町づくりは、1625(寛永2)年5月15日、弘前藩第2代藩主津軽信枚(のぶひら)が、江戸幕府から津軽と江戸間の廻船就航の許可を得たことがきっかけとなり(青森開港とされています)、翌年、家臣の森山弥七郎らによって始まりました。

また、1626(寛永3)年4月6日、弘前藩は3か条からなる町づくりの基本方針を示しました。

基本方針の第1か条目は「青森への人寄せ(移住促進)」、第2か条目は商人船の取引地規制(売買は青森1か所)、第3か条目は町人の身分規定(弘前町人に準ずる)となっています。

このとき、第1か条目は、油川・浄満寺(じょうまんじ)に供養碑(青森市指定文化財)がある森山弥七郎に信枚から下命されています。

ちなみに、「青森」という地名は、森山弥七郎の進言により、信枚によって命名されたと言われています。



津軽信枚画像(高野山湯照寺院蔵)



津軽信枚が森山弥七郎に青森への人寄せを命じた黒印状の写(弘前市立弘前図書館蔵)

森山弥七郎供養碑

油川・浄満寺にある「森山弥七郎供養碑」は、港町青森の建設に尽力した元祖(初代)森山弥七郎を供養するために建てられたものとされています。

油川・浄満寺では毎年8月3日に墓前祭が行われており、森山弥七郎と戦国時代に油川城主であった奥瀬一族の遺徳をしのび、まもなく迎える青森開港400年に向け、港町青森の発展の礎を築いた先人に感謝の意が込められています。



東奥日報提供(令和6年8月14日掲載)



青森市指定文化財「森山弥七郎供養碑」(油川・浄満寺)



12月を過ぎたのに代わり映えが無く
提案2

2024/12/02 (月)

広報あおもり10月号で紹介された地図の部分か年表の部分を展示できないでしょうか。
検討していただいて追加の展示が完成された時には報道関係者を呼んでPRしていただければと考えます。

提案2



展示のタイトル

広報あおもり10月号2、3ページ目の記事を加工して黄色の枠で展示



お話をいただいておりますポスター案（広報あおもり10月号一部抜粋）につきまして、別添のとおり作成しておりましたので、ご確認いただき、ご意見等ございましたら、頂戴できれば幸いに存じます。

当ポスター案は、現在各施設に写真の掲載許可を申請しているところがございます、許可が下りましたら、青森駅東西自由通路に掲示したいと思っております。

お忙しいところ大変恐れ入りますが、引き続き何卒よろしくお願いいたします。

みなとまち・あおもり誕生 400 年 歴史ガイド

青森市のみなととまちの歴史(1/2)

(※広報あおもり10月号特集記事を一部抜粋、ほか青森の歴史を絵画・写真で紹介)

みなとまち・あおもり誕生 400 年実行委員会(問合せ先:青森市経済部交流推進課 TEL:017-734-5415)



青森市のみなとまちの歴史

<p>1625 寛永2年</p> <p>開港</p> <p>幕府から津軽・江戸間の船泊が許可される</p> <p>津軽佐治</p>	<p>1626 寛永3年</p> <p>まちづくりの始まり</p> <p>青森まちづくりの始まり</p> <p>森山弥七郎</p>	<p>1871 明治4年</p> <p>海運の発展</p> <p>青森港に汽船が着き、青森が海運の中心地となる</p> <p>汽船の発展</p>	<p>1891 明治24年</p> <p>青森港が海運の中心地となる</p> <p>青森港の発展</p>	<p>1906 明治39年</p> <p>青森港が海運の中心地となる</p> <p>青森港の発展</p>	<p>1908 明治41年</p> <p>青森港が海運の中心地となる</p> <p>青森港の発展</p>	<p>1915 大正4年</p> <p>青森港が海運の中心地となる</p> <p>青森港の発展</p>	<p>1925 大正14年</p> <p>青森港が海運の中心地となる</p> <p>青森港の発展</p>
---	--	---	---	---	---	--	---



<絵画・写真でみる青森の歴史>

みなとまち・あおもり誕生 400 年 歴史ガイド

青森市のみなととまちの歴史(2/2)

(※広報あおもり10月号特集記事を一部抜粋、ほか青森の歴史を絵画・写真で紹介)

みなとまち・あおもり誕生 400 年実行委員会(問合せ先:青森市経済部交流推進課 TEL:017-734-5415)



青森市のみなとまちの歴史

<p>1945 昭和20年</p> <p>青森大空襲</p> <p>青森大空襲</p>	<p>1986 昭和61年</p> <p>青森大空襲</p> <p>青森大空襲</p>	<p>1988 昭和63年</p> <p>青森大空襲</p> <p>青森大空襲</p>	<p>1992 平成4年</p> <p>青森大空襲</p> <p>青森大空襲</p>	<p>2010 平成22年</p> <p>青森大空襲</p> <p>青森大空襲</p>	<p>2021 令和3年</p> <p>青森大空襲</p> <p>青森大空襲</p>	<p>2025 令和8年</p> <p>開港から400年</p> <p>まちづくりの始まりから400年</p>	<p>2026 令和8年</p> <p>開港から400年</p> <p>まちづくりの始まりから400年</p>
--	--	--	---	--	---	--	--



<絵画・写真でみる青森の歴史>



提案1



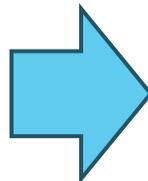
提案2

ロゴマークが作られたいきさつ 表彰式の写真などのポスター作製 提案3



昨日はお越しいただき、誠にありがとうございました。
また、お写真をお送りいただき、誠にありがとうございます。
いただきましたお話を内部で情報共有させていただき、
早速ポスター作成に移りたいと存じます。

ポスターの案が出来あがりましたら、ご確認いただければと存じます。
よろしくお願いいたします。



みなとまち・あおもり誕生 400 年 歴史ガイド

みなとまち・あおもり誕生 400 年 記念ロゴマーク



みなとまち・あおもり誕生 400 年実行委員会(問合せ先:青森市経済部交流推進課 TEL:017-734-5415)

記念ロゴマーク

右記の記念ロゴマークは、みなとまち・あおもり誕生 400 年記念事業を実施するにあたり、青森市内小学生からデザインの募集をし、最優秀作品を元にして制作されたものです。

募集期間は、令和 5 年 12 月から令和 6 年 1 月 31 日まで、応募総数は、224 点に上り、工夫を凝らした力作揃いの中から、最優秀作品 1 点、優秀作品 2 点が選ばれました。

今後開催する記念イベントを盛り上げるため活用してまいりますので、見かけた際には応援のほどよろしくお願いいたします。

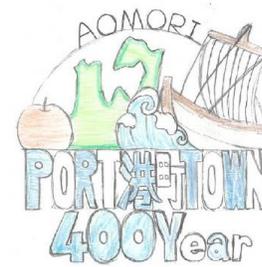


みなとまち・あおもり誕生 400 年
記念ロゴマーク

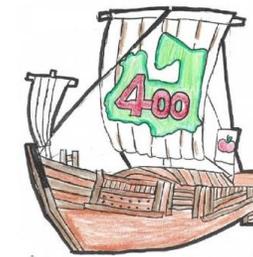
受賞作品



最優秀作品
船橋 紘希 さん
(※当時:小柳小学校 6 年生)



優秀作品
芹田 明音 さん
(※当時:金沢小学校 6 年生)



優秀作品
前田 吹 さん
(※当時:金沢小学校 6 年生)

作品に込められた思い

最優秀作品を制作した船橋さんのコメントを掲載します。

『 それぞれの年代の「にぎわい」を表しました。
江戸時代は船でにぎわっている様子、昭和は寝台特急の乗客でにぎわっている様子、令和は、他と違って、青森の「おだやかさ」を表しています。
また、時の流れを矢印で示しています。2026 年から先へのびている線は未来への流れを示しています。』



令和 6 年 3 月 17 日実施した表彰式の様子

タイトルは付けていただけなかったのですが
提案1から提案3まで作成展示していただきました！



提案1から作成のポスター

みなとまち・あおり誕生 400 年 歴史ガイド

青森の町づくりと森山弥七郎

みなとまち・あおり誕生 400 年実行委員会(問合せ先:青森市経済部交流推進課 TEL:017-734-5415)

青森の町づくり

青森の町づくりは、1625(寛永2年)5月15日、弘前藩第2代藩主津軽信枚(のぶひら)が、江戸幕府から津軽と江戸間の廻船就航の許可を得たことがきっかけとなり(青森開港とされています)、翌年、家臣の森山弥七郎によって始まりました。
また、1626(寛永3年)4月6日、弘前藩は3か条からなる町づくりの基本方針を示しました。

基本方針の第1か条目は「青森への人寄せ(移住促進)」、第2か条目は商人船の取引地規制(売買は青森1か所)、第3か条目は町人の身分規定(弘前町人に準ずる)となっています。
このとき、第1か条目は、油川・浄満寺(じょうまんじ)に供養碑(青森市指定文化財)がある森山弥七郎に信枚から下命されています。
ちなみに、「青森」という地名は、森山弥七郎の進言により、信枚によって命名されたと言われています。

森山弥七郎供養碑

油川・浄満寺にある「森山弥七郎供養碑」は、港町青森の建設に尽力した元祖(初代)森山弥七郎を供養するために建てられたものとされています。
油川・浄満寺では毎年8月3日に墓前祭が行われており、森山弥七郎と戦国時代に油川城主であった奥瀬一族の遺徳をしのび、まもなく迎える青森開港400年に向け、港町青森の発展の礎を築いた先人に感謝の意が込められています。



東奥日報社提供(令和6年8月14日掲載)



青森市指定文化財「森山弥七郎供養碑」(油川・浄満寺)



津軽信枚画像(高野山照願寺蔵)



津軽信枚が森山弥七郎に青森への人寄せを命じた黒印紙の写(弘前市立弘前図書館蔵)

提案2から作成のポスター2種類

みなとまち・あおり誕生 400 年 歴史ガイド

青森市のみなととまちの歴史(1/2)

(※広報あおり10月号特集記事を一部抜粋、ほか青森の歴史を絵画・写真で紹介)

みなとまち・あおり誕生 400 年実行委員会(問合せ先:青森市経済部交流推進課 TEL:017-734-5415)

特集1



青森港は2025年に開港400年を迎えます

青森市のみなととまちの歴史

- 1625 寛永2年** 開港 島原から津軽に廻船の船積が許可される
- 1626 寛永3年** まちづくりの基本方針を示す
- 1871 明治4年** 青森港開港 青森港開港 青森港開港
- 1891 明治24年** 青森港開港 青森港開港
- 1906 明治39年** 青森港開港 青森港開港
- 1908 明治41年** 青森港開港 青森港開港
- 1915 大正4年** 青森港開港 青森港開港
- 1925 大正14年** 青森港開港 青森港開港



<絵画・写真でみる青森の歴史>



約200年前に描かれた青森の様子(津軽信枚の書状に写された青森の町並み(複製)) (1700-30年代 青森の町並み(複製)) (1906年 青森港開港の様子(複製)) (1915年 青森港開港の様子(複製)) (1925年 青森港開港の様子(複製)) (1925年 青森港開港の様子(複製))

みなとまち・あおり誕生 400 年 歴史ガイド

青森市のみなととまちの歴史(2/2)

(※広報あおり10月号特集記事を一部抜粋、ほか青森の歴史を絵画・写真で紹介)

みなとまち・あおり誕生 400 年実行委員会(問合せ先:青森市経済部交流推進課 TEL:017-734-5415)



江戸時代の絵画

- 1945 昭和20年** 青森港開港 青森港開港
- 1986 昭和61年** 青森港開港 青森港開港
- 1988 昭和63年** 青森港開港 青森港開港
- 1992 平成4年** 青森港開港 青森港開港
- 2010 平成22年** 青森港開港 青森港開港
- 2021 令和3年** 青森港開港 青森港開港
- 2025 令和7年** 青森港開港 青森港開港
- 2026 令和8年** 青森港開港 青森港開港



<絵画・写真でみる青森の歴史>



船の碇場の様子(複製) (1906年 青森港開港の様子(複製)) (1915年 青森港開港の様子(複製)) (1925年 青森港開港の様子(複製)) (1925年 青森港開港の様子(複製))

提案3から作成のポスター

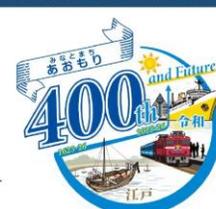
みなとまち・あおり誕生 400 年 歴史ガイド

みなとまち・あおり誕生 400 年 記念ロゴマーク

みなとまち・あおり誕生 400 年実行委員会(問合せ先:青森市経済部交流推進課 TEL:017-734-5415)

記念ロゴマーク

右記の記念ロゴマークは、みなとまち・あおり誕生 400 年 記念事業を実施するにあたり、青森市内小学生からデザインの募集をし、最優秀作品を元に制作されたものです。
募集期間は、令和5年12月から令和6年1月31日まで、応募総数は、224点に上り、工夫を凝らした力作揃いの中から、最優秀作品1点、優秀作品2点が選ばれました。
今後開催する記念イベントを盛り上げるため活用してまいりますので、見かけた際には応援のほどよろしくお願い申し上げます。



みなとまち・あおり誕生 400 年 記念ロゴマーク

受賞作品

- 最優秀作品** 船橋 結希 さん (※当時:小柳小学校 6年生)
- 優秀作品** 芹田 明音 さん (※当時:金沢小学校 6年生)
- 優秀作品** 前田 吹 さん (※当時:金沢小学校 6年生)

作品に込められた思い

最優秀作品を制作した船橋さんのコメントを掲載します。
『それぞれの年代の「にぎわい」を表しました。江戸時代は船でにぎわっている様子、昭和は寝台特急の乗客でにぎわっている様子、令和は、他と違って、青森の「おだやかさ」を表しています。また、時の流れを矢印で示しています。2026年から先へのびている線は未来への流れを示しています。』



令和6年3月17日実施した表彰の様子

2025年、青森開港400年 2026年、青森まちづくり400年 みなとまち・あおり「400歳」になります